

## 「必ず来る」災害に備えて

市長 浅野健司

2月15日に、市医師会、市歯科医師会、市薬剤師会、東海中央病院、ピノキオ商事株式会社にご参加いただき、災害時の医療救護拠点の設置・運営について、初の実地訓練を実施いたしました。

市内に4カ所設置する災害時の拠点救護所のうち、今回の訓練は、那加中学校の格技場で実施。市の要請に基づく医師会などの関係機関の参集、救護所の設営、傷病者のトリアージ・応急処置や、傷病者の搬送にかかる関係機関との連携など、



一連の流れを実践的に確認することができました。また、市と関係機関が一堂に会したことで、お互いに顔の見える関係を築くことが

でき、非常に有意義な訓練となりました。

一方で、大規模な災害が発生した際の円滑な情報伝達を行うための連絡体制の強化、市医療対策本部と拠点救護所間で使用する車両の確保、災害時の停電や通信障害など、あらゆる状況を想定した実践的な訓練が必要であるということを確認することができました。

関係機関と連携し、現場で訓練を行うことではじめて見えてくる成果と課題があり、大きな一歩であったと思います。今後は、より実践的な訓練を計画してまいります。

災害は、「来るかもしれない」ではなく、「必ず来る」という認識のもと、今後も関係機関との連携をより強化し、共に訓練を積み重ねることで、災害対応能力の向上を図ってまいります。

## Pick up ↑

注目の話題、気になる情報をお届けするコーナーです。今号は、水道の取り組みについてお知らせします。

### 三井水源地 有機フッ素化合物（PFAS）対策の新施設工事がスタート

令和8年4月から、PFAS（PFOS及びPFOA）が、水質管理目標設定項目から水質基準項目（基準値50ng/L以下）に格上げされました。

現在、三井水源地では活性炭による浄水処理を行い、基準値を満たした安全な水道水をお届けしています。さらに将来にわたり、「もっと安全」で「もっと安心」な水道水をお届けするため、新たな浄水施設の整備工事を本格的に開始します。

今回の工事では、PFAS除去性能が高い「イオン交換樹脂」を用いた施設を整備します。

イオン交換樹脂は、特定の物質と樹脂が保有するイオンを交換し合う性質を有する直径1mm前後の球体です。このイオン交換樹脂を入れたタンク形状の浄水設備を4基設置し、くみあげた水を通すことで、PFASを除去することができます。新たな浄水施設は、令和8年度中の運用開始を目指して、着実に工事を進めます。



新しい浄水処理施設のイメージ

工事の詳細や進捗は、市ウェブサイトですぐ更新します。また、広報紙でも定期的にお知らせする予定です。

詳細 水質改善対策室 ☎ 058-216-8010

